

認知症作業療法 活動計画（概要）

大分県作業療法協会では、認知症アップデート研修を中心に認知症支援にかかる人材育成に取り組んでいる。昨年度は基礎編（講義形式）、応用編（事例検討会）、実践編（カフェの企画・運営）という構成で実施し、延べ105名が受講した。今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、研修会の実施に至ってはいないが、10月以降に実施していく予定である。

認知症アップデート研修(2019) 実践編（カフェの企画～運営）

令和1年10月から3カ月間にわたって、10名のメンバーでオレンジカフェ運営に向けた検討会を行った。参加者それぞれが、地域のカフェや事業所を訪問するなどし、意見を出し合った。



各自でカフェを訪問し情報共有したり、意見交換を行った。

オレンジカフェの運営

令和2年1月18日、市民公開講座後にオレンジカフェを開設した。体験コーナーや、タッチパネルを使った評価、相談コーナーなど3つのブースを設けた。作品展も行い、約50名の参加があった。



スタンプラリー形式を取り入れ、多くの参加者がブースを回った。

認知症アップデート研修

10月以降に基礎編（講義形式）、応用編（事例検討会）の2段階で行う予定である。



昨年度の基礎編、応用編の様子

COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

今年度は秋の作業療法フェスタに合わせてカフェを開設する予定であった。しかし新型コロナウイルスの影響で運営が困難と考えられるため、見送ることにした。代替案としてサロンなどの集いの場に配布するためのリーフレットを作成し、県民に対しての啓発活動を行っていきたいと考えている。